

2013.
11月号

広報～風・菜・樹 ふなき便り

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業グループ

生活支援センターふなき ～日中一時支援事業～

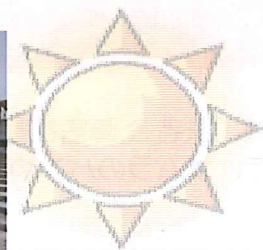
日中一時支援事業とは、地域生活支援事業の一つで、「日中一時的に見守りが必要な障害者や障害児の方を対象に日中に見守りなどの支援を行い、介護をしている家族の就労や休息を支援する事業」です。

「家族と同居していないと利用できないの？」と思いがちですが、お一人で暮らしていられる方も利用可能です。

「就労継続支援B型を利用しているが、休みの日に行くところが欲しい。」、「自宅で一人だと気分が沈みがちになる」、「就労系の事業所は利用が難しいけど、どこか出掛ける所が欲しい」、など様々な理由で利用されています。

ただ、地域生活支援事業という事業は障害者総合支援法の介護給付や訓練等給付と違い、各市町村がそれぞれ独自で行っており、支給量の出し方などが市町村ごとに違って来るため市によっては単身生活の人の支給量（利用可能日数）が少なかったりすることもあります。

利用や支給量等につきましては、詳しくは最寄りの市町村の障害福祉の窓口へお問い合わせ下さい。



生活支援センターふなきでは、より楽しんで利用していただけるように、季節ごとにいろいろなプログラムや行事を取り入れて、季節感を味わってもらったり、いろいろな場所へ行くことで楽しんでもらえるよう取り組んでいます。

秋の行楽シーズン ～各事業所の外出紹介～

【ハイツ外出支援】

ハイツふなきでは毎月1度、施設外へ活動に出る外出支援を行っています。今回は10月25日（金）に楠こもれびの郷へ行ってきました！！こもれびの郷では美味しい昼食を食べ、地元の農産物を買う事ができました。また、併設の源泉かけ流し温泉（くすくすの湯）に浸かってホッとひと息された利用者の方も居られ、皆さん満喫された様子でした。



【ヴィラバス旅行】

10月20日（土）ヴィラふなき利用者・職員の総勢47名にて日帰りバス旅行に下関へ行って参りました。ドラ焼きで有名な(株)巖流本舗の工場見学と出来立てホヤホヤの巖流焼きの試食、また下関港の海峡ゆめタワーや水族館として有名な海響館の見学をしました。また、一部の方は今年出来た遊園地「はい！からっと横丁」へ足を伸ばされておりました。比較的近場のバス旅行ですが、見所が多かったとの感想を多く頂きました。



【友遊運動会】

ハイツ、センターの利用者さんが参加されました。いろいろな競技を楽しまれていました。



【Happy Together 障害者の祭典】

”すきっちゃ音楽”をテーマに宇部市文化会館で行われました。センターの日中一時支援の利用者さんが見学に行きました。



私共、扶老会 障害福祉サービス事業グループからも職員がスタッフとして参加しました。また、サムラのパンやクッキーをイベント会場で販売させて頂きました。

～シリーズ～ 【職員勉強会】

9月は、【「人を褒めよう」～明るい職場を作る為に～】というテーマで、同じ職場のスタッフ同士を褒めあうというグループワークを行いました。人から褒められることの嬉しさやそこから生まれる気持ちを体感し、今後の利用者への個別支援に活かす勉強会でした。

また、10月は「記録の取り方」というテーマで、記録の必要性を講義で学んだ後、童話や架空の利用者のケースの要約を通して、他者へ分かりやすく伝える方法や要約技術を身に着ける為のグループワークを行いました。

今回の2回を通し、人それぞれに価値観がある事を体験し、また自分が見えていなかった他者の良い所を実感しました。また、伝達に関して、人によって伝えたいポイントが異なる点を感じる事が出来た職員勉強会となりました。



ハイツ・ヴィラ家族会

11月10日（日）ハイツふなき、ヴィラふなき合同で利用者のご家族・保証人を招いての家族会を開催しました。

現在我々を取り巻く環境として、今年4月より障害者総合支援法が施行されておりますが、制度についての事業所としての見解や今年の活動報告を致しました。

特に、今回はハイツふなき就労継続B型の作業報告に力を入れ、写真を多用した紹介を致しました。

ご家族からは、作業に真剣に取り組んでいる利用者さんの姿にこれまでとは違った印象を感じたとの声も聞かれました。

また、余暇活動の一環として実施している「日中活動」の紹介では、実際に活動に取り組んでいる新聞紙を丸めて作った棒を用いた体操の実演を行い、和やかな雰囲気で行われました。



合同ネットワーク会議

10月18日（金）に宇部、山陽小野田、美祢圏域の関係機関の皆様にご参加いただき、合同ネットワーク会議を行いました。

生活支援センターふなきの事業についての説明を行い、関係機関の皆様から情報提供やご意見を頂戴致しました。

参加いただきました関係機関の皆様におかれましては、改めてお礼を申し上げます。



スタッフちゃんねる

みなさん、こんにちは。

サムラに入職して9か月になりました、生活支援員の西村です。今は厨房で働いており、毎日お弁当や総菜、日替わりランチや花いちもんめ（サムラの日替わり定食）など、他の職員や利用者の方と協力して作っています。

また毎年夏の時期には恒例の祖母との東京旅行へ行くのですが、必ず行くのは巣鴨です。（ちなみに巣鴨は祖母の希望です♪）祖母は健康のために、赤いパンツを毎年購入しており、ここ5年間東京に行った際には毎回購入しています。

そんな祖母の為に健康長寿の秘訣や、パワースポットなど、良い場所があればぜひ教えてください♪



サムラ おせちの注文承ります。

今年もやってまいりました年末年始！！

サムラをもっと多くの方に知ってもらう為、利用者の皆さんの工賃アップの為、職員総出で気合を入れて頑張っております。

すでにたくさんの注文が殺到しており、残りもわずかとなっております。

オードブルと三段重の2種類がございます。注文について気になった方がおられましたら、ぜひ一度サムラへご連絡下さい。



＜オードブル 5,500円＞



＜三段重12,000円＞



＜包装の様子＞

榎谷施設長の

I CAN DO IT

～～手軽に楽しく自己研鑽～

私のグループの援助指針に「私たち職員は、利用者を援助のするものとしての専門性を高めるため常に自己研鑽に努めなくてはならない」という項目があります。とてもすごいことをしているような響きですが、プロですから当然ことですし、大したことはありません。

文章を読むと眠くなる私は、勉強に難しい本は一切使いません。と言うより使えません。専らテレビ、映画、漫画等が中心なのです。それらには長所があります。難しい本の場合、著者の情熱が一方向的に綴られているにすぎない場合がありますが、それらは、患者さんや障害をお持ちの方々の意見がダイレクトにわかり、当事者の心情がよく伝わってきます。特にNHKの「バリバラ」という番組は、司会者もレギュラー陣も全員障害者。常に当事者の意見が飛び交う番組で、生活の中でのあらゆる場面をテーマに討論され非常に参考になります。

そんな私が、現在とても気に入っているのが「ペコロスの母に会いに行く」という、認知症をテーマにした一冊の漫画。息子の「ゆういち」が、認知症を患う母「みつえ」の介護に奮闘する物語で、この親子は今も健在です。一組の親子を通じて認知症介護の在り方を考えさせられるものですが、その内容はとてもユーモラスです。主人公でもあり作者の雄一さんは「僕が一番伝えたいのは、母のしぐさのかわいさとか、ちょっとしたズレのおもしろさみたいなもの。おもしろがってもらえるといいかなと思うんです」と話されています。「変わりゆく母を受け止める」ということができるようになるまでには、相当な苦労をされたはず。その過程で、認知症が進んでいるのかかわらず10年以上も前に亡くなったご主人のことを思い出す母の姿を見たり、老いた姉妹の別れであったり、様々な場面に立ち会うことで「今、ここ」に寄り添う介護の大切さを痛感されたのでしょうか。この親子の物語に心救われ「自分らしい介護」を見出す同じ境遇の人が増えているようです。最も心に残ったシーンのひとつにこのようなシーンがあります。

「さっき（亡くなった）父ちゃんが訪ねて来ったばい。なあユウイチ。ウチがボケたけん父ちゃんが現れたとなら、ボケるとも悪か事ばかりじゃなかかもしれん」……。

CHECK!



- ・ハイツふなき
- ・ヴィラふなき
- ・生活支援センターふなき
- ・サムラ

〒757-0216

社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業グループ
山口県宇部市大字船木833

- (0836)67-0188 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型
- (0836)67-1883 グループホーム・ケアホーム
- (0836)67-2464 相談支援事業・日中一時支援
- (0836)67-0171 就労移行支援事業・就労継続支援B型

ホームページ <http://www.furoukai.jp/>

ブログ <http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>